

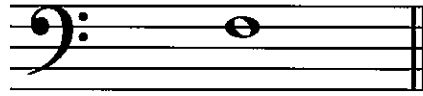
(全8枚中の1枚目)

### ③ 中学校 音楽

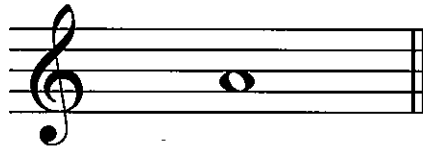
(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

1 次の(1)～(5)に答えなさい。

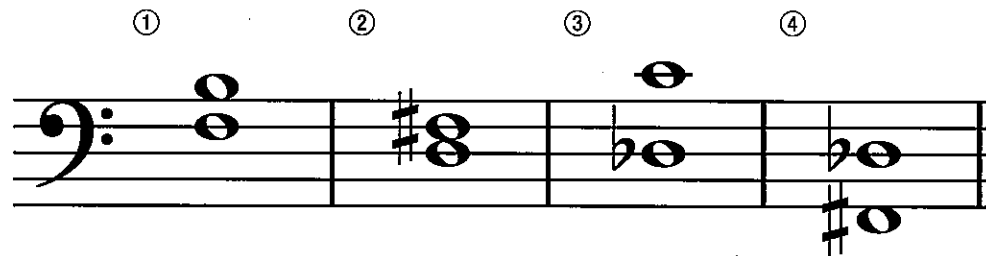
(1) 次の音を主音とする旋律的短音階の上行形と下行形について、臨時記号を用いてアルト譜表上に書きなさい。



(2) 次の記譜音について、ホルン in F で演奏した際の実音を書きなさい。



(3) 次の①～④の二音間の音程を書きなさい。また、それぞれの転回音程を書きなさい。



(4) 次の①～③に適する語句を書きなさい。

○ ( ① ) とは、演奏者の妙技を発揮させるための華やかで即興的な部分であるが、終止形の和音進行としても用いられる。語源は cadere であり、落ちる、転ぶ、終わるといった意味を持つ。

○ ( ② ) の和音とは、減三和音にさらに短3度上の音を積み重ねたもので、根音と第七音が ( ② ) 度になる和音である。

○ ( ③ ) 調が下属調に転調し、さらにその平行調に転調すると Cis を属音とする長調になる。

(5) 次の楽器の中で、リード楽器ではないものをア～オからすべて選び、その記号を書きなさい。

ア 箏 伊 ケーナ ウ バグパイプ エ ズルナ オ ナイ

### ③ 中学校 音楽

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

- 2 次の会話は、器楽の授業で楽譜の曲をアルトリコーダーで演奏する際の表現の工夫について、生徒たちが話し合っているものである。下の(1)～(3)に答えなさい。

#### 楽 譜

りく：Aの部分の旋律は滑らかに演奏したいから、フレーズの最初の音だけをタンギングして、そのあとの音は息の流れを切らずに演奏する(①)奏法で演奏してみたらどうかな？

れん：その奏法も良いと思うけど、息の流れを切らずにタンギングして演奏する(②)奏法でも滑らかに演奏できるんじゃないかな。

めい：Bの部分はひとつひとつの音を丁寧に表現したいから、はっきりと1音1音離して演奏する(③)奏法で演奏したいな。

りく：それはいいね！休符も生かして演奏できたらいいな。

れん：Cの部分は軽快で弾んだ感じを表現したいから、タンギングで一つ一つの音を短く切って演奏する(④)奏法で演奏したいな。

めい：一つ一つの音の切り方やつなぎ方を工夫すると、旋律にさまざまな表情をつけることができるね。いろいろ試して演奏してみよう！

- (1) ①～④にあてはまる奏法を、次のあ～けから1つずつ選び、その記号を書きなさい。

あ スタッカート	い プリング・オフ	う ノンレガート
え ピツィカート	お グリッサンド	か レガート
き ハンマリング・オン	く テヌート	け ミュート

- (2) 二重線部はフレージングと密接な関係にある。この方法を何というか、書きなさい。

- (3) Aの高い音をきれいにさせない生徒に対してどのような指導をしたらよいか、具体的に書きなさい。

③ 中学校 音楽

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

3 次の楽譜①～⑤は、連作交響詩「我が祖国」の旋律の一部である。下の(1)～(4)に答えなさい。

(1) 次のア～ウは、この楽曲の作曲者自身が楽譜に記した標題である。その標題が記されている旋律として適するものを①～⑤から1つずつ選び、その記号を書きなさい。

ア 農民の結婚式

イ 月の光、水の精の踊り

ウ 聖ヨハネの急流

(2) ①を演奏する楽器名を書きなさい。

(3) ⑤の調名を書きなさい。また、この旋律は同名調に転調して再び現れるが、その転調した調名と調号を書きなさい。

(4) 次の文はこの楽曲に関連する19世紀の音楽について説明したものである。A～Eに適する作曲家名とその作曲家が生まれた国名を書きなさい。また、あ～うに適する語句または数字をa～kから1つずつ選び、その記号を書きなさい。

a 3

b 4

c 5

d 6

e ヴィシェフラト

f ヴルタヴァ

g ドナウ

h ライン

i シャールカ

j ターボル

k ブラニーク

③ 中学校 音楽

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

4 次の楽譜①～④は、様々な時代におけるレクイエムの楽譜の一部である。下の(1)～(4)に答えなさい。

Blank area for writing answers to questions 1-4.

- (1) ①のローマ・カトリック教会のミサで礼拝の際に歌われた単旋律の聖歌を何というか。また、この楽譜は現在の五線による記譜法の始まりとなったものであるが、その楽譜を何というか、それぞれ書きなさい。
- (2) (1)に対して、仏教の経典を唱えることから派生し、その後日本では「講式」や「和賛」など独自の様式へと発展した声楽を何というか、書きなさい。
- (3) ①の旋律は、19世紀以降の作曲家たちが不安や恐怖を表す場面に引用している。その楽曲の例としてあてはまるものを次のア～エから1つ選び、その記号を書きなさい。

- |                    |                      |
|--------------------|----------------------|
| ア ベルリオーズ作曲 「幻想交響曲」 | イ デュカス作曲 「魔法使いの弟子」   |
| ウ ホルスト作曲 「惑星」      | エ ストラヴィンスキー作曲 「春の祭典」 |

(全8枚中の5枚目)

③ 中学校 音楽

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

- (4) ②～④について、楽曲の作曲者をア～コから、解説をあ～かからそれぞれ1つずつ選び、その記号を書きなさい。また、②～④を、作曲された年代が古い順に並べ替えなさい。

ア	フォーレ	イ	ブラームス	ウ	モーツァルト	エ	ヴェルディ	オ	プッチーニ
カ	オケゲム	キ	ベートーヴェン	ク	ラフマニノフ	ケ	バッハ	コ	ブリテン

あ

い

う

え

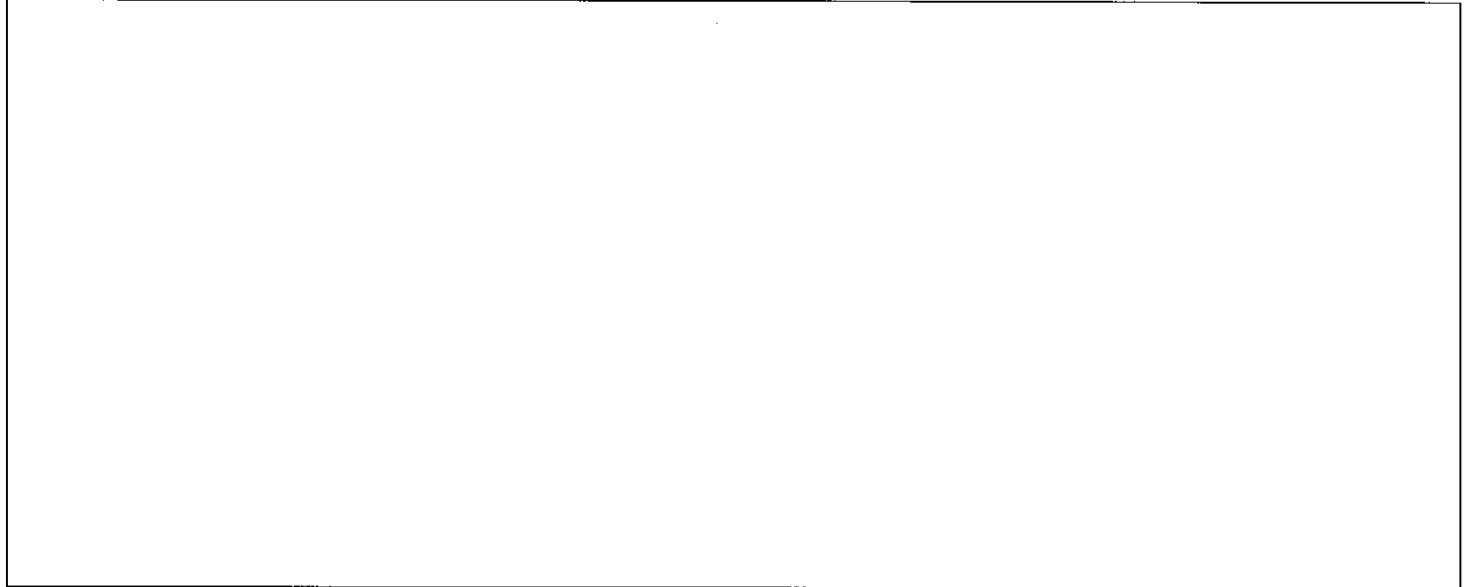
お

か

### ③ 中学校 音楽

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

5 次の楽譜は、「ふるさと」の一部を抜粋したものである。下の(1)～(4)に答えなさい。



(1) この曲の作曲者名を書きなさい。

(2) この楽譜のように、全ての声部がほとんど同じリズムで進行し、主旋律と伴奏声部からなる音楽を、ポリフォニーに対して何というか、書きなさい。

(3) ①の構成音からなるコードネームを書きなさい。また、そのコードをギターで演奏する際のダイアグラムとして、適するものを次のア～エから1つ選び、その記号を書きなさい。

(●押さえる ○開放弦 ×弾かない)

ア	イ	ウ	エ

(4) 歌唱の授業においてこの楽譜の曲を合唱する際に、美しいハーモニーで歌うためにはどのような指導をしたらよいか、具体的に2つ書きなさい。

③ 中学校 音楽

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

- 6 次の資料は、『能の魅力伝えよう』という題材で、生徒が授業で学んだことをまとめたワークシートである。下の(1)～(4)に答えなさい。

能の魅力伝えよう

<能の演奏者>  
囃子(四拍子)……謡の伴奏や舞の音楽を担当

( ① ) ……主役の心理や情景などを描写した謡を担当

<能の演者>  
( ② ) ……主人公を謡、演技、舞で表現する最も重要な演者。ほとんどの場合、面をかけて演じる。  
( ③ ) ……面をかけずに主人公の相手役を演じる。

<能について>  
能は室町時代に将軍足利義光の庇護のもと観阿弥、( ④ )父子によって創始された。  
( ④ )は( ⑤ )といわれる独特の能の形式を確立した。旅の僧の中に亡霊があらわれるというような時空を超えた形式である。

<私が伝えたい能の魅力～船弁慶を鑑賞して～>

資料

- (1) A～Dにあてはまる楽器の名称を書きなさい。また、①～⑥にあてはまる語句を、次のあ～ちから1つずつ選び、その記号を書きなさい。

あ	ワキ	い	コミ	う	シテ	え	アイ	お	クリ
か	世阿弥	き	観世元雅	く	金春禅竹	け	狂言	こ	序破急
さ	地謡	し	唄方	す	太夫	せ	仕舞	そ	五番立
た	サシ	ち	夢幻能						

③ 中学校 音楽

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

(2) ④によって残された伝書や作品ではないものを、次のア～エから1つ選び、その記号を書きなさい。

ア 風姿花伝

イ 高砂

ウ 敦盛

エ 紅葉狩

(3) 次の口唱歌を用いるのはどの楽器か、資料中のA～Dから1つ選び、その記号を書きなさい。また、この題材の中で生徒がこの口唱歌を歌う活動を取り入れた場合のねらいは何か、書きなさい。

(4) 能において、主に神や鬼などの役柄が活躍する場面だけで演奏される楽器はどれか、資料中のA～Dから1つ選び、その記号を書きなさい。

7 次の文は、新中学校学習指導要領(平成29年告示)「音楽」の「各学年の目標及び内容」の「第1学年」の「内容」の一部である。①～⑤にあてはまる語句を書きなさい。

A 表現

(1) 歌唱の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 歌唱表現に関わる知識や技能を(①)しながら、歌唱表現を(②)すること。

イ 次の(ア)及び(イ)について理解すること。

(ア) (③)と音楽の構造や歌詞の内容との関わり

(イ) 声の(④)や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり

ウ 次の(ア)及び(イ)の技能を身に付けること。

(ア) (②)を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能

(イ) (②)を生かし、(⑤)や各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能

(2) 器楽の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 器楽表現に関わる知識や技能を(①)しながら、器楽表現を(②)すること。

イ 次の(ア)及び(イ)について理解すること。

(ア) (③)と音楽の構造との関わり

(イ) 楽器の(④)や響きと奏法との関わり

ウ 次の(ア)及び(イ)の技能を身に付けること。

(ア) (②)を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能

(イ) (②)を生かし、(⑤)や各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能